

中高生、「居場所」できるよ



文京区に4月、中学・高校生向けの活動施設「区青少年プラザ」が誕生する。愛称は「b-lab(ビーラボ)」。学校でもない。塾とも異なる。音楽や勉強、おしゃべりなど自由に使える新たな「居場所」だ。10代の自主的な活動を引き出す狙いがある。

文京区開設、「自ら活動する力引き出す」

中高生は学校の部活動や通塾で忙しく、自主活動の機会が少ないのではないかと。そんな問題意識から、区が2009年から開設を検討していた。運営は全国で若者の学習支援をするNPO法人「カタリバ」(杉並区)が受託した。

ビーラボは、区が約25億円建て替えた区教育センター(文京区湯島4丁目)内に開設。1、3階に談話室や自習室、音楽スタジオ、演劇やダンスに使えるホールなどを備え、エレキギターやドラムセットなどの楽器や音響装置も貸し出す。2階の屋外部分には運

文京区が新設する中高生向け施設「青少年プラザ」。14日の内覧会には多くの生徒がやって来た。文京区湯島4丁目

音楽・勉強…大学生ら協力

動スペースがある。年末年始を除いて無休で、区内在住や在学の中高生らが使える。原則無料だが、音楽スタジオ600円(3時間)など有料スペースも格安だ。

定期イベントも目玉のひとつ。大学生らが勉強や英会話などを教える週2回の「マナビ場」や、近くの専門学校が協力する音楽講習のほか、利用する中高生が発案する活動も増やす計画だ。

昨年から参加希望の生徒を募り、同世代向けの無料誌を2万部作って配ったり、外国にルーツのある生徒や留学生らと日本文化を語る会を開いたりしてきた。4月の開館後にケーブルテレビ会社の協力で施設紹介のCMをつくる案も出ている。

中高生向け施設は調布市や杉並区などにもある。ビーラボ館長の今村亮さん(32)は「中高生が自ら活動する機会をどんどん増やし、ほかにはない施設にしたい」と話す。

(岡雄一郎)